

猿 橋  
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## はじまりの歌

校長 磯部 裕之

「扉を開いて 新しい明日へ行こう」というフレーズが明るく印象的なこの歌。この歌が、ぼんやりとして形すらも定まっていなかった今回の創立 150 周年記念式典のイメージを、一気に鮮やかに描き出してくれました。

「この歌、式典の歌としてどうでしょうか」と、年度初めに音楽部の先生から提案された「はじまりの歌」は、歌詞もメロディーもまさに 150 周年の記念にふさわしい、心に響くものでした。約 600 人の全校児童で歌ったらどんなに素敵になるだろうと夢は膨らみました。

6月・7月は、今月の歌として歌っていく中で歌詞を覚えました。そして、9月からは「さわやかハーモニー」と称して、各教室の廊下から中庭に向かって、全校で心を合わせて歌う練習を重ねてきました。芝生広場に立って全校の歌声を聞くと、下学年の一生懸命な声、中学年の伸びやかな声、高学年のきれいな高音が、本当に素敵なハーモニーとして完成していく姿に、どんどん期待が高まってきました。

こうして迎えた 10月 26日、創立 150 周年記念式典の当日、子どもたちは、国歌、校歌、新発田市歌、そしてこの「はじまりの歌」、合計 4 曲を歌いました。特に「はじまりの歌」は、私の予想をはるかに超えて、本当に心にしみわたりました。

この歌を作詞作曲した ゆげ たけんすけ 弓削田健介さんは、ご自分のサイトにこの歌についてこのような解説を載せています。

昔の人たちが描いた未来を僕たちは歩いていくのだとすると、次の未来にはぼくたちや子どもたちが描く未来を歩く誰かがいることになります。今は大変な時代かもしれませんが、今こそ素敵な未来を描いていきましょう！願いのバトンを次に渡しましょう！音楽と子どもたちがそばにいてくれたら、何でもできそうな気がします。（なんて力強いメッセージ！）

本当に多くの方から記念式典にご参加いただきありがとうございます。これからも、新発田市や地域・保護者の皆様と心をつなげて、子どもたち一人一人のすこやかな成長を願って教育活動を進めていきたい、そんな思いを新たにした創立 150 周年記念式典でした。ご協力いただきました PTA 役員の皆様、安兵衛太鼓部関係者の皆様、本当にありがとうございました。